

- ▼ 全国大会
- ▼ 期日 / 8月27日(金)・28日(土)
- ▼ 会場 / 国立競技場(東京都)
- ▼ 出場種目 / 5年女子100m
- ▼ 100m / 14秒12 優勝
- ▼ 走り幅跳び / 4m35cm 優勝
- ※ 5年女子最優秀選手賞受賞

須崎理子さん(第小5年) 5年女子100m・5年女子走り幅跳び 2種目で全道制覇!

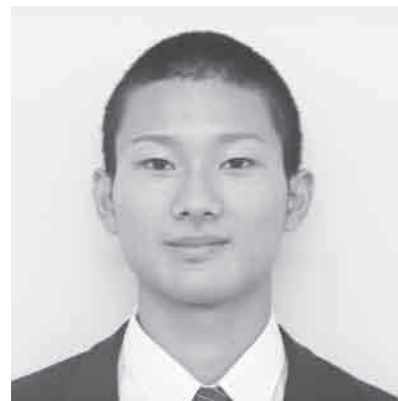


全道優勝を果たした須崎さん(左端)

第28回北海道小学生陸上競技大会

7月18、19の両日、北見市で行われた第28回北海道小学生陸上競技大会で、弟子屈RCスポーツ少年団所属の須崎理子さん(弟子屈小5年)が全道各地から出場した強豪に競り勝ち、2種目で全道制覇を成し遂げました。

大会後、須崎さんは「日ごろの練習の成果を発揮できました。全国大会では100mだけの出場となりますが、決勝に残れるよう頑張ります」と、全道大会の感想と全国大会での目標を語ってくれました。



全国大会への出場を決めた西田君

西田尚将君(第高2年)インターハイ初出場

弟子屈高校陸上部所属の西田尚将君(2年)が、6月23日に札幌市で行われた第63回北海道高等学校陸上競技選手権大会男子110mハードルで第5位入賞を果たし、7月30日から沖縄県で開催される第63回全国高等学校陸上競技対校選手権大会(インターハイ)への出場を決めました。

同校陸上部では、平成13年の鈴木圭太君(3千m障害)以来、9年ぶりのインターハイ出場となります。

西田君は、高校進学後としては初めての全国大会出場となります。大会前に役場を表敬訪問した西田君は「昨年はけがをして、全道大会にも出場できませんでした。中学生以来、2年ぶりの全国大会出場となりますが、自己ベストを更新して、準決勝を突破し決勝に残れるよう頑張ります」と、全国大会での目標を語りました。



全道大会への出場を決めた選手たち

第中・川中の生徒21人 全道中体連出場へ

- ▼ 第31回北海道中学校バドミントン大会(7月30日から岩見沢市)
- ▼ 栗田佳典(川湯中3年)、池上温人、二本松椋太、今井玄(以上同2年)、瀬原健太、松田幹哉、後藤優哉(以上同1年)
- ▼ 第31回北海道中学校ソフトテニス大会(7月30日から苫小牧市) / 伊藤ひかり、豊島ありす、藤江葉月、坂東糸(以上弟子屈中3年)、阪口あいか、松橋わか(以上同2年)、佐藤美咲、藤江弥生(以上同1年)
- ▼ 第41回北海道中学校バドミントン大会(7月30日から岩見沢市)
- ▼ 山内隼人、金川竜佑、杉山駿介(以上弟子屈中3年)、西田健修、濱岡浩平(以上同1年)
- ▼ 第41回北海道中学校バドミントン大会(7月30日から岩見沢市)
- ▼ 栗田佳典(川湯中3年)、池上温人、二本松椋太、今井玄(以上同2年)、瀬原健太、松田幹哉、後藤優哉(以上同1年)
- ▼ 第31回北海道中学校ソフトテニス大会(7月30日から苫小牧市) / 伊藤ひかり、豊島ありす、藤江葉月、坂東糸(以上弟子屈中3年)、阪口あいか、松橋わか(以上同2年)、佐藤美咲、藤江弥生(以上同1年)



力投する有岡君

町内少年野球交流大会

2回弟子屈町少年野球交流大会が7月6日、町営球場で行われ、摩周ジャガーズ(弟子屈小学校)と川湯ファイヤーズ(川湯小学校)が対戦しました。

試合は、ジャガーズ投手の有岡大君(5年)の好投などでファイヤーズを圧倒し、12対4の5回コールドゲームで摩周ジャガーズが勝ちました。両チームともに、今後の活躍が期待されます。

スポーツ体験教室情報

- ▼ 日時 / 8月22日(日) 9時30分～11時30分
- ▼ 場所 / 弟子屈小学校
- ※ 雨天時は弟子屈小学校体育館
- ▼ 内容 / ①歩き方 ②走り方 ③箱根駅伝のスピード体験など
- ▼ 講師 / 中央大学陸上部 浦田春生監督(バルセロナオリンピック1万5000m日本代表、コーチ、選手ほか)
- ▼ 対象 / 一般町民、スポーツ団体の指導者、選手
- ▼ 受講料 / 無料
- ▼ 申し込み締め切り / 8月18日(水)
- ▼ 申し込み・問い合わせ先 / 教育委員会社会教育課体育振興係 ☎482-2948(課直通)まで。



宝塚歌劇団の男役スターとして雪組・星組で活躍した「元タカラジェンヌ」の立樹遥さんと行くエコウォークが、7月9日～11日までの3日間にわたり、町内の各地域で行われました。

遠くは韓国からの参加者もあるなど、全国各地から集まった総勢20人の二行は、あこがれの立樹さんと交流しながら、和琴半島や硫黄山でのエコツアー、釧路川でのカヌー体験など、弟子屈ならではの着地型ツアーを楽しみました。

エコウォークは、日本エコウォーク環境貢献推進機構が進めている、その地域ならではの資源である自然や歴史・文化などを、地元ガイドが案内・解説しながら歩くというプログラムです。参加料の一部は、プログラム開催地の環境保全などに寄付されます。

立樹さんは93年に宝塚歌劇団に入団し、国内はもちろん韓国などでも「ベルサイユのばら」などの公演を重ね、活躍。09年に退団した後は、チャリティトークショーなどに出演しています。

今回は、エコウォークの活動に何とか協力したいという立樹さんと、てしかがえこまち推進協議会初代女性部会長の藤原多美さんが宝塚の先輩ということで、弟子屈町を会場としたエコウォークが実現しました。

主催は、昨年から新たなエ

硫黄山のつじヶ原ハイマツデッキ、全国各地から参加された皆さんと立樹さん写真後列中央、左端はガイドの萩原さん

「宿：花ふらり」で、お二人のトークショーに参加しました。

2日目はあいにくの雨でしたが、和琴半島エコツアーと釧路川でのカヌー体験に参加。和琴半島では、約2時間かけて屈斜路カルデラの成り立ちや、動植物の生態系などについて解説を聞きながら歩きまわりました。

最終日の11日は、今回のプログラムのメインイベント「強酸性温泉が作り出す標高1500m以上の高山植物群落を歩くエコウォーク」がスタート。同社の萩原寛暢さんをガイドに硫黄山を出発して、つじヶ原(中摩周湖観光協会 根津文博会長)では、訪れていたお客さまにお得に弟子屈を楽しんでいただこうと、新たな取り組みとなる「ツー・レイク・プラン2010(7月21日～10月11日)」を実施しています。

この取り組みは、ホームページ内のプランのページを印刷し、賛同して参加している事業者(約20事業者)の店舗などへ提示することで、さまざまな特典が受けられるというものです。同協会では「たくさんの観光客の皆さんに使っていただき、町内での消費増につなげたい」と話しています。詳しくは「弟子屈なび」内の同プランのページ(<http://www.masuko.or.jp/pe/tp2010.html>)をご覧ください。

また、(株)ツーリズムてしかが(白石悠浩 代表取締役)と北海道じやらんは、町の

観光客に特典満載

地域内での消費拡大を促す
Two Lake Plan 2010 & 弟子屈エコリストバンド

活性化と町内消費を促そうと、弟子屈エコリストバンド事業を8月20日～5月31日の約9カ月間展開します。

弟子屈エコリストバンドを購入して腕にはめている方には、賛同して参加している町内事業者(約70事業者)の店舗などでさまざまな特典が用意されます。

リストバンドは、同社で500円で販売され、収益の一部はてしかがえこまち推進協議会環境・温泉部会の町内緑化事業に寄付されます。同社では、飲食店や宿泊施設などの食材には積極的に地元産地産の食材を使おうと呼びかけており、地産地消の運動も同時に進めています。



エコのテーマカラー「緑」のリストバンド

お問い合わせ先 / Two Lake Plan 2010については社摩周湖観光協会 ☎482-2200
エコリストバンドについては(株)ツーリズムてしかが ☎483-2101まで。

コツアープログラムとして、同協会エコツーリズム部会(池田篤英部会長)とともに丁寧なプログラムづくりを進めてきた、主に着地型旅行を扱う地域密着型の旅行者・(株)ツーリズムてしかが(白石悠浩代表取締役)です。

一行は初日、立樹さんの宝塚時代先輩である藤原さんが営む

「宿：花ふらり」で、お二人のトークショーに参加しました。

2日目はあいにくの雨でしたが、和琴半島エコツアーと釧路川でのカヌー体験に参加。和琴半島では、約2時間かけて屈斜路カルデラの成り立ちや、動植物の生態系などについて解説を聞きながら歩きまわりました。

最終日の11日は、今回のプログラムのメインイベント「強酸性温泉が作り出す標高1500m以上の高山植物群落を歩くエコウォーク」がスタート。同社の萩原寛暢さんをガイドに硫黄山を出発して、つじヶ原(中摩周湖観光協会 根津文博会長)では、訪れていたお客さまにお得に弟子屈を楽しんでいただこうと、新たな取り組みとなる「ツー・レイク・プラン2010(7月21日～10月11日)」を実施しています。

この取り組みは、ホームページ内のプランのページを印刷し、賛同して参加している事業者(約20事業者)の店舗などへ提示することで、さまざまな特典が受けられるというものです。同協会では「たくさんの観光客の皆さんに使っていただき、町内での消費増につなげたい」と話しています。詳しくは「弟子屈なび」内の同プランのページ(<http://www.masuko.or.jp/pe/tp2010.html>)をご覧ください。

また、(株)ツーリズムてしかが(白石悠浩 代表取締役)と北海道じやらんは、町の

原、川湯温泉街を巡るエコウォークを堪能しました。

立樹さんは自身のブログで「ただただ感動の日々でした。弟子屈や自然の素晴らしさをあらためて感じることができました。3日間いろいろなことを感じ、五感をフル活用」と書き「機会をつくってまた訪れたい」とも話していました。

主催者は「弟子屈でのエコツアーで非常に満足していただけた。今回のツアーに参加した皆さんの口コミなどでも、新たな需要創出が図られる。今後も継続したい」と意気込んでいました。

元タカラジェンヌ

立樹遥さんと弟子屈を堪能

宝塚歌劇団の男役スターとして雪組・星組で活躍した「元タカラジェンヌ」の立樹遥さんと行くエコウォークが、7月9日～11日までの3日間にわたり、町内の各地域で行われました。

遠くは韓国からの参加者もあるなど、全国各地から集まった総勢20人の二行は、あこがれの立樹さんと交流しながら、和琴半島や硫黄山でのエコツアー、釧路川でのカヌー体験など、弟子屈ならではの着地型ツアーを楽しみました。

エコウォークは、日本エコウォーク環境貢献推進機構が進めている、その地域ならではの資源である自然や歴史・文化などを、地元ガイドが案内・解説しながら歩くというプログラムです。参加料の一部は、プログラム開催地の環境保全などに寄付されます。

立樹さんは93年に宝塚歌劇団に入団し、国内はもちろん韓国などでも「ベルサイユのばら」などの公演を重ね、活躍。09年に退団した後は、チャリティトークショーなどに出演しています。

今回は、エコウォークの活動に何とか協力したいという立樹さんと、てしかがえこまち推進協議会初代女性部会長の藤原多美さんが宝塚の先輩ということで、弟子屈町を会場としたエコウォークが実現しました。

主催は、昨年から新たなエ